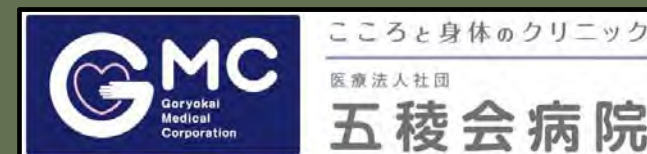


【GMCPLM0054】



# 認知リハビリテーション

- 認知機能とは
- 心の理論
- DSM-5で分類される神経認知障害
- 精神疾患における認知機能障害
- 認知機能改善療法 CRT
- 五稜会病院で実施している CRT



演者は、日本精神神経学会専門医、指導医です

令和7年3月作成

# 日本精神科病院協会雑誌

2023  
Vol.42  
No.8

特集 認知リハビリテーションおよび心理社会的療法の実践

- 認知リハビリテーションの臨床的意義…………… 久保田涼太郎, 中込和幸 ● 6  
Neuropsychological Educational Approach to Remediation (NEAR) による  
精神疾患の認知機能障害への介入…………… 豊巻敦人, 久住一郎 ● 13  
VCAT-J (Vocational Cognitive Ability Training by Jcores) の概要と実践  
…………… 渡邊由香子, 池淵恵美 ● 18  
社会認知リハビリテーションについて～ SCIT を中心に～…………… 芳賀大輔 ● 23  
社会生活スキルトレーニングについて…………… 加瀬昭彦 ● 28  
就労移行支援事業所の訓練生への認知リハビリテーションと SST 併用の事例 …… 松宮千士里 ● 33  
ソーシャルスキルトレーニング VR (SST-VR) : 開発の経緯と製品の概要 …… 大西弘二, 蟹江絢子 ● 39  
慈恵病院における NEAR の実践 …… 山下理英子, 吉村優作, 野村良寛, 江田修一,  
細川聖司, 小野亜希, 小野夏月, 武田俊彦, 堀井茂男 ● 46  
若者支援プログラムに VCAT-J を導入して …… 仲野あかね, 白田幸輝, 落合友理恵, 川合友寛 ● 52  
精神科病院における社会認知機能改善プログラム SCIT の実践  
…………… 家田麻衣, 堀 義治, 福岡知晴, 高沢 悟 ● 57  
ソーシャルスキルトレーニング VR (SST-VR) 導入・実践報告  
…………… 智田文徳, 小野寺あおい, 安田高子, 鈴木りほ ● 62



# 認知機能とは

神経認知機能と社会認知機能に2つ分類

1

## 神経認知機能

脳の神経回路が担う認知機能  
記憶や思考、判断、言語などの能力

処理速度

Greenら

買い物の際に素早くお釣りを計算することができる

注意・覚醒

読書に集中する

作業記憶

伝えられた電話番号を暗記してダイヤルする

言語学習

スーパーで購入予定の品物を暗記しておく

視覚学習

クローゼットのどこに物を置いたのか覚えておく

推論と問題解決

車が故障した時にどのように対処するか検討できる

2

## 社会認知機能

他者の意図や性質を理解する人間としての  
能力を含む対人関係の基礎となる精神活動

心の理論 (theory of mind; ToM)

他者の意向、傾向、信念などを推し量る能力

社会知覚 (social perception)

言語/非言語的な手がかりから、社会的な状況の文脈や、相互の関係性、役割などを同定する能力

社会知識 (social knowledge)

社会的な状況を特徴づけ、社会における相互関係をガイドする、ルールや役割、目的に関する知識

帰属バイアス (attributional bias)

Positiveまたはnegativeな事象の原因を推測する際の個人に典型的なスタイル

情動処理 (emotional processing)

情動の認知、使用に関する幅広い内容を含有  
情動処理に関する有力なモデルでは、情動の知覚、情動による思考の促進、情動の理解、情動の管理の4つ

社会的認知は社会的交流を円滑にするために必要であり、心の理論、情緒推定課程、感情的な意思決定の3つが重要



# 心の理論 (Theory of Mind)

重


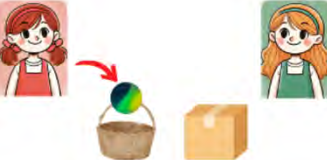



● 心の理論 (Theory of Mind) とは、他者の考えや気持ちを推測し、理解する能力

- 他者は自分とは違う考え方やものの見方をする可能性があることを理解している
- 他者の行動を見て、その考えを予測し、解釈することができる
- 「今、話しかけていいかな？」とかなどと類推しながら相手と話を進めることができる

- 通常、4歳から6歳で獲得される
- 自閉症者は十分発達していない

## 注目【心の理論の研究】

- 1978年、PremackとWoodruffが提唱
- 1983年、WimmerとPernerが誤った信念課題 (False Belief task) を開発
- 1985年、サイモン・バロン=コーエンらが **「サリーとアン課題」** と呼ばれる先駆的な研究を発表

<p>① サリーには'カゴ'、アンには'箱'が与えられる</p>  <p>サリー                      アン</p>	<p>② サリーは、ビー玉を'カゴ'に入れる</p> 	<p>③ サリーは、散歩へでかける</p> 
<p>④ アンは、ビー玉を、'カゴ'から'箱'へ移し替える</p> 	<p>⑤ サリーが戻ってくるが、ビー玉がないことに気づく</p> 	<p>⑥ それでは、質問です</p> <p>サリーは、どこを探すでしょう？</p>

参考 <https://clitama.human-relation.net/goshinnen/>

# DSM-5で分類される神経認知障害 (NCD : Neurocognitive Disorders)

認知症

- DSM-5は、アメリカ精神医学会が作成した精神障害の診断基準
- 精神医学、心理学、社会福祉など、多くの専門分野で用いられている
- 研究や臨床の現場で広く使用され、特に詳細な診断基準と具体的な症状の記述に重点が置かれている

## 認知領域

(日本精神神経学会日本語版用語監修、高橋三郎ら:DSM-5®精神疾患の診断・統計マニュアル)

複雑性注意	1	持続性注意、分配性注意、選択制注意、処理速度
実行機能	2	計画性、意思決定、ワーキングメモリー、フィードバック/エラーの訂正応答、習慣無視/抑制、心的柔軟性
学習と記憶	3	即時記憶、近時記憶（自由再生、手がかり再生、再認記憶を含む）、長期記憶（意味記憶、自伝的記憶）、潜在学習
言語	4	表修正言語（胡椒、喚語、流暢性、分包、および構文を含む）と受容性言語
知覚-運動	5	視知覚、視覚構成、知覚-運動、実行、認知を含む
社会的認知	6	情動認知と心の理論

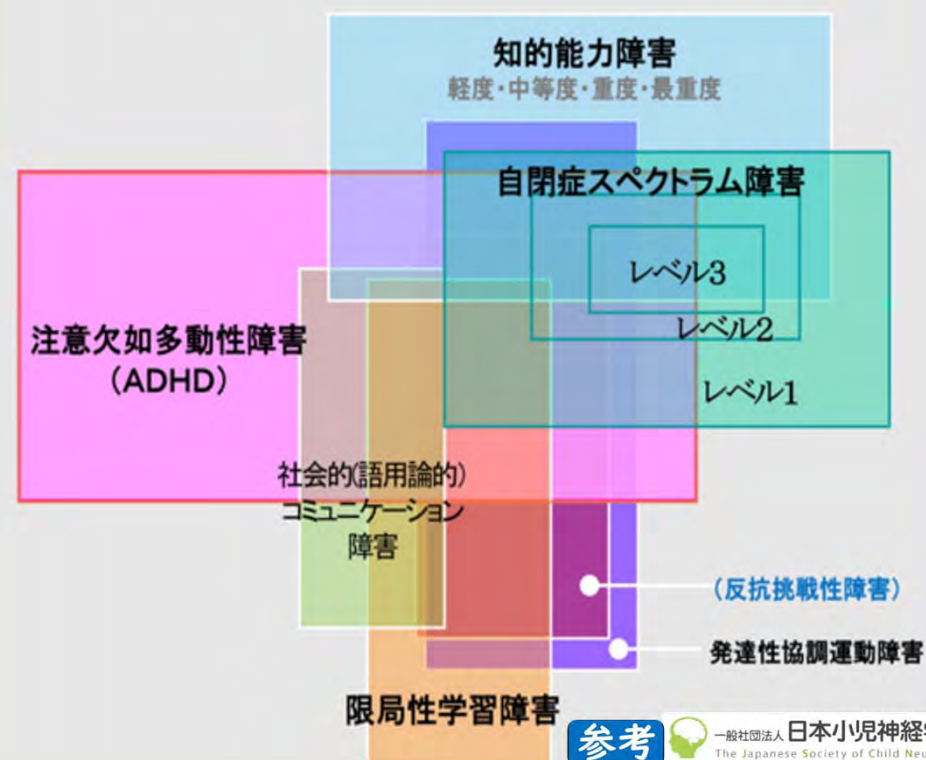


# DSM-5で神経発達症群分類される神経認知障害

- 発達障害者支援法では、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害」と定義

自閉スペクトラム症 (ASD)	「コミュニケーションの問題・対人関係の問題」と「興味の限局、こだわり、常同行動」があること
注意欠如多動症 (ADHD)	複数の状況下における著しい不注意、多動衝動性で、能力の発揮や発達の妨げになっている状態。12歳以下から出現
知的障害 (=知的能力障害)	発達期に発症し、概念的、社会的、および実用的な領域における知的能力と適応機能両面の欠陥を含む障害
学習障害 (≒限局性学習症)	効率的かつ正確に情報を理解し処理する能力に特異的な欠陥を認める場合に診断される。 読字障害、書字表出障害、算数障害がある
発達性協調運動症	協調運動技能の獲得や遂行が、その人の生活年齢や技能の学習及び使用の機会に応じて期待されるものより明らかに劣っている状態

## 主な発達障害(神経発達症)の関係 -DSM-5による-



# 精神疾患における認知機能障害

- 統合失調症やうつ病などの疾患で認知機能障害が存在し、日常生活機能に影響を与える
- 精神症状のみを治療しても認知機能障害が持続していれば、リカバリーの達成は難しい

## 【統合失調症における認知機能障害】

脳の神経伝達物質に異常が起こることで、知覚処理、注意、記憶などの認知機能に障害が起こる。特に作業記憶（限られた情報を短期間保持する機能）の低下が報告されている。認知機能の低下は、社会復帰を妨げる大きな要因となっている。

## 【うつ病における認知機能障害】

うつ病を患った人は、うつ病を経験していない人に比べて、将来的に認知症を発症するリスクが高いと考えられている。うつ病の期間や重症度が長いほど、そのリスクは高まると言われている。

## 【認知機能障害の具体例】

- さまざまな情報の似ている点と異なる点を区別し、物事をグループに分けて整理する能力が低下する
- 過去の似たような体験に基づいた対応ができなくなる
- 箱は積み上げ、衣類はタンスにしまうといった整理整頓ができなくなる
- 手順よく料理をすることができなくなる



# 認知機能改善療法(CRT : Cognitive Remediation Therapy)


- 国内で早くに導入されたCRTは NEAR。我が国で導入可能な技法は六つ

名称	1 NEAR	2 VCAT -J	3 SCIT	4 MCT	5 FEP	6 CCT
	Neuropsychological Educational Approach to Remediation	Vocational Cognitive Ability Training by Jcores	Social Cognition and Interaction Training	Metacognitive Training	Frontal/Executive Program	Compensatory Cognitive Training
主催	最上を中心に翻訳	池淵が中心となって開発	最上を中心に翻訳	石塚が中心となって翻訳	松井が中心となって翻訳	松井が中心となって翻訳
対象	認知機能障害のある精神疾患患者。寛解期, 安定期	主に就労を目標とする統合失調症患者を対象	ソーシャルスキルトレーニング(SST)を補完		高次機能障害, 精神疾患, 発達障害など多彩な疾患	
内容	コンピュータセッションと言語セッション。VCAT -Jと類似。実施者は, NEAR治療者ワークショップに参加する必要がある。言語グループ, NEARでは複数のテーマが用意されている	職業的認知能力訓練。Jcoresという認知機能の改善を目的としたコンピュータゲームを使用。コンピュータセッションと言語グループと呼ばれるブリッジングセッション	三つの段階。第1段階では感情についての理解を高める 第2段階は状況把握をテーマ。第3段階は具体的な場面を通して確認	原国帰属バイアス, メタ認知を治療標的とし, スライドやホームワークなどを用いて議論を行う介入	前頭葉が関与する高次認知機能を賦活させる多様な教材を用いてマンツーマンで行う介入	認知機能障害そのものの改善を目指すのではなく, 日常生活での認知機能が関与する活動について代償的に, 認知機能の負荷を伴わずに知識, 方略, 機器の利用法を学ぶ介入
実際	週3回60分/回、6カ月間	1回1時間、1クール12週	週1日60分、20回	1回1時間、8セッション	1回1時間を44セッション	1回2時間を12セッション



# 五稜会病院で行っている認知機能改善療法：CRT

- 五稜会病院は、復職支援や長期入院者の退院支援を積極的に行っている
- 認知機能が低下している統合失調症やうつ病患者さんにCRTを実施し社会復帰を援助

名称	1 NEAR	2 ソーシャルスキルトレーニングVR：SST-VR
対象	認知機能障害のある精神疾患患者 寛解期，安定期	主にデイケア通所者、療養病棟の長期入院患者 生活技能を高めるためのSSTの適応となる患者
内容	①コンピュータセッション ②言語セッション。 ①1時間のコンピュータセッションでは、それぞれの利用者にとって標的とする認知領域について、1~2個程度の課題プログラムを行う ②言語セッションでは、 <b>ブリッジング</b> を行いながら、各週それぞれのテーマについて座学的に学んだり、ワークを行う	FACEDUOを用い、「社会生活の様々な場面」をリアルに再現したVR動画を教材に、SSTの実施を支援する 支援者のタブレットで当事者のVRゴーグルのコンテンツを操作し、当事者はVRでコンテンツを体験する 3つのVRパート：①状況体験 ②工夫発見 ③実践練習 
実際	週3回60分/回、6カ月間	集団精神療法において、状況体験(主観体験)や工夫発見(客観体験)のVR映像の一部を再生し問題提起の資料、あるいは体験共有のきっかけとなる資料として活用可能

- 認知機能改善療法(Cognitive Remediation Therapy :CRT)とは認知機能障害に対するリハビリテーション的な介入法である
- 認知機能は **1** 神経認知機能と **2** 社会認知機能に分類される
  - 1** 神経認知機能：脳の神経回路が担う認知機能のことで、記憶や思考、判断、言語などの能力を指します。
  - 2** 社会認知機能：他者の意図や性質を理解する人間としての能力を含む対人関係の基礎となる精神活動と定義される。  
社会的認知は社会的交流を円滑にするために必要であり、心の理論 (theory of mind : ToM)、情緒推定課程、感情的な意思決定の3つが重要
- 認知機能改善療法CRTには、大きく6つ。国内最初に導入されたのはNEAR
- 五稜会病院では、NEAR、FACEDUOを用いたソーシャルスキルトレーニングVR：SST-VRを実践